

仕事は「見た目」で9割決まる!? 初対面で失敗しない「第一印象」強化術

仕事には人を成長させる力がある

PHP Business

THE 21

平成27年11月10日発行 毎月1回10日発行 第32巻第12号 昭和60年1月22日第三種郵便物認可

巻頭特別インタビュー
櫻田 厚

モスフードサービス
会長兼社長

モスバーガーだけが
なぜ愛されるのか?



向第一印象
上グッズ

プロが選んだ

12

2015

No.373
PHP INSTITUTE
定価566円

総力特集

出会って5秒で心をつかむ!

初対面で
好かれる人vs.
嫌われる人の
違いとは?

第一印象で 差をつける技術

外見、服装、表情、視線、話し方、マナー etc.

「成功する人間関係のコツ」を科学する

識者22人が語る「第一印象で勝つ秘訣」

酒巻 久 (キヤノン電子社長)

和田裕美 (営業コンサルタント)

竹内一郎 (演出家)

渋谷昌三 (大学教授)

吉田たかよし (医学博士)ほか

今さら聞けない

「マナーの基本」

帝国ホテル、JTB etc.

あの一流企業が大事にする

「第一印象」の考え方



シーズン到来! 読んでおかないと恥をかく

失敗しない「接待」術

ステッツ四着、ネクタイ 四十本を使い分ける

中古ワンルームマンション販売会社・日本財託にて、業界トップクラスの営業マンとして活躍する島村氏。初対面のお客様と会う際には、何より「準備」に時間と手間をかけるという。特筆すべきはその「服装へのこだわり」だ。

「お客様と面会させていただく際は、事前に確認できる情報にはすべて目を通します。そして、その方の雰囲気への合うような服装を前の晩から選びます。ス

ーツやネクタイの色をお客様に応じて変えることもありますね」島村氏が会社に置いているリストは四着。ネクタイは約四十本にも及ぶ。いつたいどのよう使い分けているのか。

「たとえば、税理士など士業をされているお客様なら、HPなどにお写真が載っていることが多いです。お写真を何枚か拝見することで、どのような雰囲気やカラーが好きなのか想像し、それに合う服装を選ぶのです。

また、リサーチでお客様が巨人ファンだと知り、巨人のチームカラーであるオレンジ色のネ

クタイをつけてお会いしたところ、大変喜んでいただいたことがあります」

伝えたいのは、会ってくれたことへの「感謝の気持ち」

クタイをつけてお会いしたところ、大変喜んでいただいたことがあります

元々ファッショ�이好きだったという島村氏。オーダーメードのシャツをピシッと着こなしている。ただ、それはあくまで「顧客目線」あってこそだ。

「趣味と営業は違いますから。お客様を不快にさせないように気を配ります。たとえば時計も、黒革のベルトで文字盤もシンプルなものを選んでいます」

ではなぜ、ここまで服装にこだわるのか。それは顧客への「感謝の想い」だという。

「せっかくお時間をいただくのですから、少しでも気持ちのいい時間を過ごしてほしい、という想いが始まりでした。同じような雰囲気がする人には親近感を持ちやすいですよね。

また、服装を合わせるということは「あなたのことをちゃんと見ていますよ」というメッセージだとと思うのです。そのお陰か、お会いしてすぐに本音で話してくださいのお客様が多いです」

「服装だけではない。面会の際にも、ます最初に言葉で『感謝』を伝えるという。

「世界中にこんなに多くの人がいる中で、わざわざ自分のために時間を割いてくださったことに、感謝の気持ちを伝えるよう

島村氏が大事にする3つのこだわり

① 服装を相手に合わせる

事前に情報を集め、相手に合わせた服装をする。たとえば、HP等で2回以上青いネクタイをしている方なら、自分も青いネクタイで。一方、ノーネクタイで合わせることも。服装は最低限の敬意と考えている。

② 感謝の気持ちを伝える

面会の際はまず、時間をいただいたことへの感謝の意を伝える。もちろん、心からの感謝が前提だ。「営業マン失格かもしれませんのが、成績よりもお客様に喜んでもらえたほうが僕はうれしいのです」(島村氏)

③ 知り合いのように落ち着いて話す

初対面の際、あまり緊張してぎこちない話になると、相手との距離が生まれてしまう。「初めて会うときも、あいさつからすでに10回も20回も会っているかのようなトーンで話しています」(島村氏)



バッグも3種類を使い分ける。これは契約書を持ち運ぶためのダレスバッグ。



時計は有名ブランドではなく、ごくシンプルな革ベルト。